

都市再生整備計画(第3回変更)

はんしんこうしえんえきしゅうへんちく
阪神甲子園駅周辺地区

ひょうごけん にしのみやし
兵庫県 西宮市

令和2年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	兵庫県	市町村名	西宮市	地区名	阪神甲子園駅周辺地区	面積	19.5 ha
計画期間	平成	27	年度	～	令和	元	年度
交付期間	平成	27	年度	～	令和	元	年度

目標

県内有数の集客施設である阪神甲子園球場への玄関口となる阪神甲子園駅の駅舎改善事業に伴い、駅前空間の再生を行う。

- ①賑わいとつながりのある駅前空間の整備
- ②駅周辺部の安全で円滑な歩行空間の確保

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

本地区は、県内有数の集客施設である阪神甲子園球場やその最寄り駅であり、西宮市の地域核のひとつに位置づけられる阪神甲子園駅(乗降客数は1日約5万人、野球開催時は1日約10万人)及びその周辺を含めた区域であり、地区南部では国内有数の子供向け職業体験施設を併設した大型商業施設が隣接しており、阪神甲子園駅から阪神甲子園球場及びその周辺施設への歩行者動線として、大きな役割を担っている。地区内南北には県道浜甲子園甲子園口停車場線、東西に阪神高速道路3号神戸線が位置し、主要交通網の集中する地区となるが、相対し地区の北部に隣接する地域には、歴史ある良好な低層住宅街が広がっており、閑静な趣を醸しだしている。地区周辺の鉄道施設整備については、平成20年度より阪神甲子園駅～武庫川間で阪神本線連続立体交差事業(鳴尾工区)を工事着手、また地区内において、平成23年度より甲子園駅総合改善事業が工事着手され、平成28年度末に完了した高架切替(側道整備は平成30年度に完了)後の平成29年度には完了した。これらの整備に伴い、全国的な知名度も高い阪神甲子園球場が立地するという特性を活かし、駅周辺部における賑わいとつながりのある駅前空間の創出や安全で円滑な公共空間の整備を行う。

- ・平成21年3月 甲子園球場リニューアル工事が完成。
- ・平成28年度 阪神本線連続立体交差事業(鳴尾工区)高架切替完了。(側道整備は平成30年度完了)
- ・平成29年度 甲子園駅総合改善事業完了

課題

- ・甲子園駅総合改善事業が平成29年度に完了したことから、駅前空間の賑わいやつながりの創出等、安全で活気のある公共空間の形成による快適性の向上、またそれらの公共空間の形成に付随した歩行者空間の動線強化、野球開催時の安全な歩行者処理等が地域の課題となっており、早期の解決が求められている。
- ・甲子園球場が位置する本地区の地域特性を踏まえ、野球開催時と平時のそれぞれの公共空間の特性を活かした駅前空間の形成を目指す。
- ・本地区の北東部においては、鉄道陸橋下通路の歩行者、自転車、自動車等の輻輳の問題や老朽化した施設が、かねてより地元から問題視されており、景観及び快適性の向上が望まれている。

将来ビジョン(中長期)

駅前広場等の環境整備により野球開催時以外でも人々が滞在、回遊し、快適性を得られるような賑わいと魅力のある公共空間を創出し、駅周辺の再生を図るとともに、当該地に付随する歩行空間の環境、利便性の向上を図る。

<上位計画での位置づけ>

西宮市第4次総合計画(2009～2018)の実施計画(平成26～28年度)では、「駅周辺部の安全で円滑な交通機能の確保や賑わいとつながりのある駅前空間の整備を検討する。」とされている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者交通量	人	甲子園駅～甲子園球場間の歩行者交通量(野球開催時以外)	駅前広場の環境整備による賑わい創出の効果を、本地区に訪れる人々の交通量を調査し、評価する。	686人	平成26年度	754人	令和元年度
歩行環境への満足度	%	道路の歩きやすさと安全性及び景観の向上に関する満足度(アンケート)	魅力的かつ快適な歩行者ネットワークづくりを行い、その効果をアンケートにより歩行環境への満足度で評価する。	25%	平成26年度	30%	令和元年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1:『賑わいとうるおいのある駅前空間の整備』 駅から球場に至る歩行者動線の美装化による快適な駅前空間の確保や景観に配慮した円形広場ゾーンの整備、広場内に整備するステージ等を利用し、歴史ある甲子園球場の立地する地域特性を活用したまちづくり活動を実施することにより、日常的な人々の集いの場を展開し、持続的な賑わいやうるおいのある公共空間を創出する。</p>	<p>駅～球場間歩行者動線整備等(基幹事業/高質空間形成施設、阪神電鉄) 円形広場整備等(基幹事業/地域生活基盤施設/阪神電鉄) サイン整備(基幹事業/地域生活基盤施設/阪神電鉄) 休憩施設等整備(提案事業/地域創造支援事業/西宮市) 休憩施設等整備(提案事業/地域創造支援事業/阪神電鉄)</p>
<p>整備方針2:『駅周辺部の安全で円滑な歩行空間の確保』 駅舎から阪神甲子園球場に至る歩行者動線の強化により歩行者等の安全性の向上とゆとりのある歩行空間の確保を図る。</p>	<p>東駅舎周辺市道(基幹事業/道路、市) 駅～球場間歩行者動線整備等(基幹事業/高質空間形成施設、阪神電鉄) 西バスターミナル改築等(基幹事業/高次都市施設、阪神電鉄) 電線共同溝(基幹事業/道路、市) 円形広場整備等(基幹事業/地域生活基盤施設/阪神電鉄)</p>
<p>その他</p>	<p>事後調査及び評価(提案事業/事業活用調査/市)</p>
<p>その他</p> <p>本地区に位置する阪神甲子園球場は、選抜高等学校野球大会、全国高等学校野球選手権大会が開催され、全国高校球児の聖地であるとともに、関西圏で熱狂的な人気を有する阪神タイガースのホームグラウンドである。野球開催時以外にも甲子園ボウル(全日本大学アメリカンフットボール選手権)やコンサートなどの大型イベントの会場として親しまれ、野球ファンはもとより全国にその存在が認識されている。また、大正13年に「甲子園大運動場」として誕生した本球場は本年をもって、95周年を迎える。</p> <p>甲子園駅改善事業及び甲子園駅周辺整備事業により駅から球場につながる公共空間が整備され、本地区が生まれ変わるとともに、整備後数年を経た令和6年に阪神甲子園球場開場100周年を迎えるという歴史的な転換期となるため、賑わいとうるおいのある新しい駅前空間の整備により、本地区における永続的な集いの場を創出する。</p>	

都市再生整備計画の区域

阪神甲子園駅周辺地区(兵庫県西宮市)

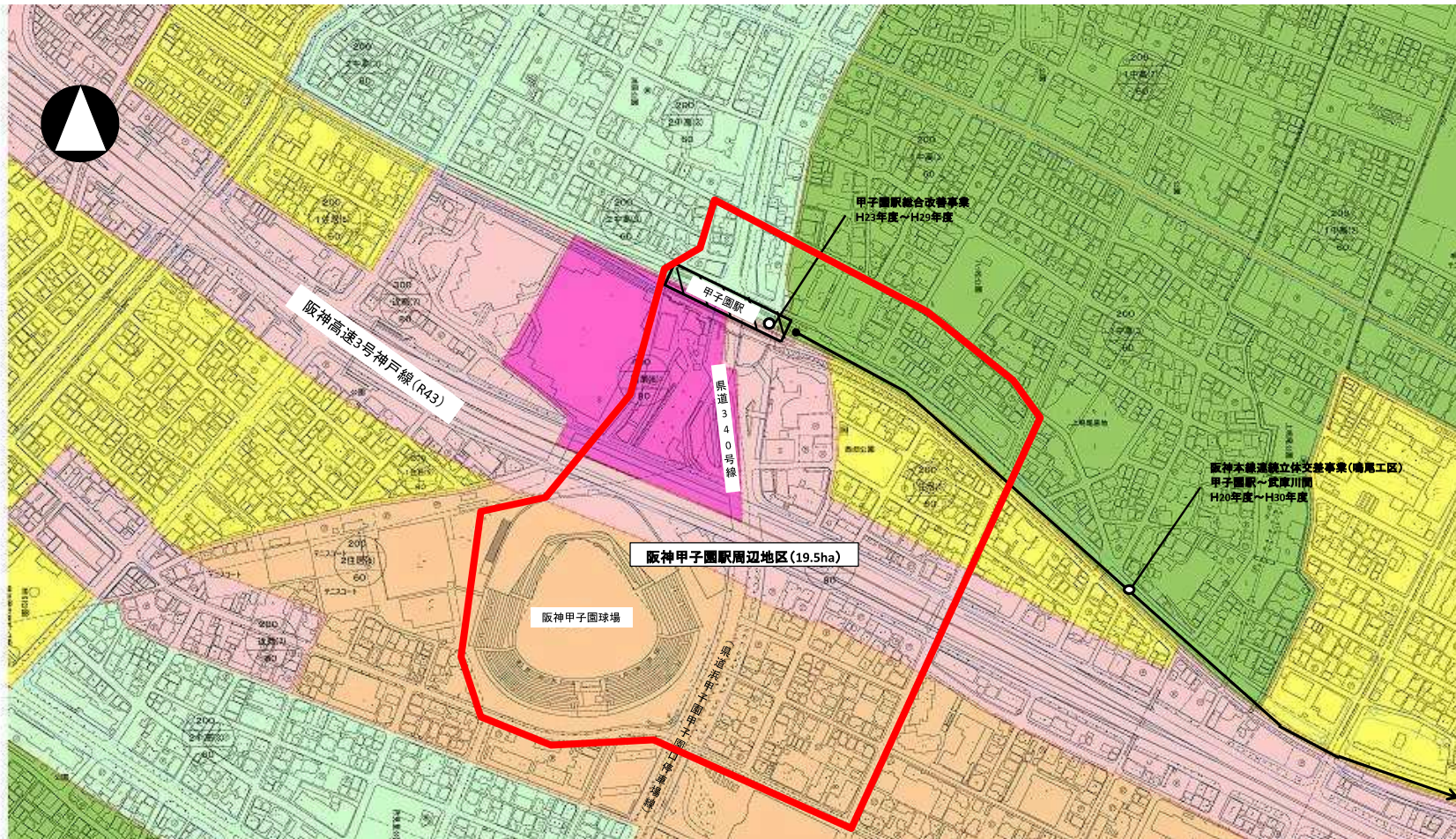
面積

19.5 ha

区域

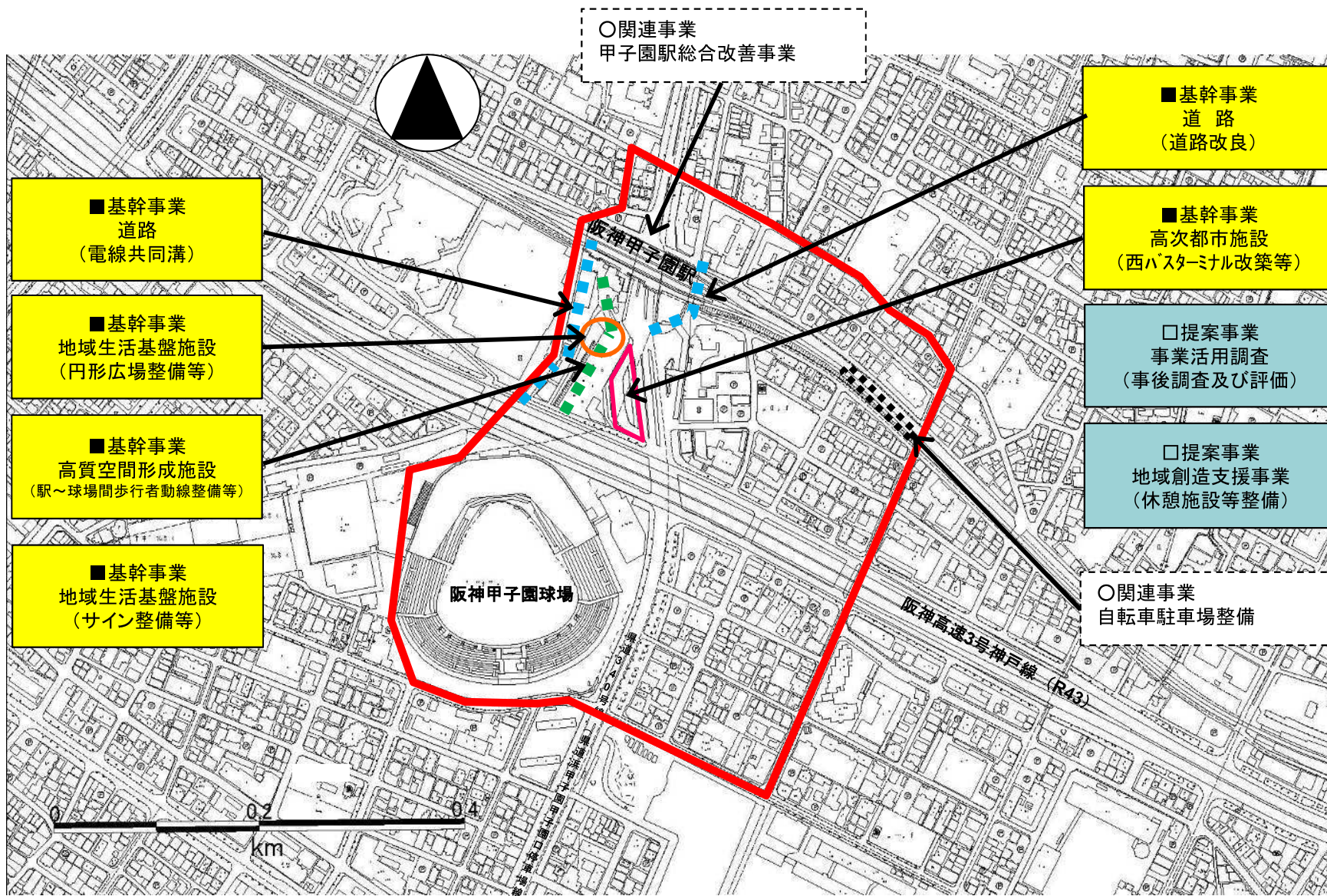
甲子園高潮町の一部、甲子園浦風町の一部、甲子園町の一部、甲子園六番町の一部、甲子園七番町の一部

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



阪神甲子園駅周辺地区(兵庫県西宮市) 整備方針概要図

目標 県内有数の集客施設である阪神甲子園球場への玄関口となる阪神甲子園駅の駅舎改善事業に伴い、駅前空間の再生を行う。 ①賑わいとろのにおいのある駅前空間の整備 ②駅周辺部の安全で円滑な歩行空間の確保	代表的な 指標	歩行者交通量	(人)	686人	(26年度)	→	754人	(1年度)
		歩行環境への満足度	(%)	25%	(26年度)	→	30%	(1年度)
		-	()	-	(年度)	→	-	(年度)



凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業